

2012年11月24日(土)開催 | ICT 利活用教育研究分科会

電子機材とタブレット PC 最前線

『電子教材とタブレットPC最前線』実施レポート



11月24日(土)ICT 利活用教育研究分科会が開催されました。
参加者は6名。

開催場所は、中央区銀座区民館

<http://chuo7kuminkan.com/about/ginza.html>

銀座4丁目13番17号

中央区の公共施設です。

分科会のはじめに、講師の田村先生から導入部として
文部科学省「教育の情報化ビジョン」の解説をとおして、電子教科書の国内動向につ
いて説明いただきました。



● 今回のワークショップで解説いただいたポイント

電子教科書の国内/海外動向
関連団体
タブレット PC の世界市場予測
タブレット PC の OS シェア予測
仕様の比較
標準化機関の動向

等々解説いただき

さらに参加者と

電子教科書・教材に必要な機能

についてディスカッションしました。

● 参加者感想(抜粋)

- ・電子教材が今後浸透していくにあたっての方向性(関連団体との関係性、動向など)を、広い視点で眺めることができました。
- ・育成に関わる仕事をしている方々には必要な情報だと思いました。
- ・キャリア教育を ICT を使った教材でできないか、考えていますが、ヒントを得ることが

できました。

・近い将来、モバイル端末やスレート PC を活用した教材が一般的になると思うので、その準備・入口知識として良かった。

・電子教材を取り巻く諸団体に関して知れたことは大変良かった。

開催日	2012 年 11 月 24 日 (土) 14:00~17:00
学習テーマ	学習支援のツールとしての可能性・将来性を議論します。
講師	上智大学／准教授 田村 恭久 氏
会場	銀座区民館 銀座四丁目 13 番 17 号
参加費	会員:無料 非会員:¥1,000ー／回(税込)
参加対象者	・高等教育機関で教育に関わる方 ・高等教育機関向けの e ラーニング事業に関わる方 ・同じく電子教科書による教育事業に関わる方、参入を検討されている方
開催概要	スレート PC・電子書籍と e ラーニングの未来【2010 年度版】 タブレット PC で電子教科書を初体験【2011 年度版】

昨年度まで同時期に上記のテーマで実施しました。

今年は、その 3 回目です。

上智大学理工学部教授 田村 恭久先生に

文科省の情報、各種学会での研究状況、大学での現状等々をご紹介いただきます。

文部科学省の「教育の情報化ビジョン」が示す、タブレット PC と電子教科書・教材の利用。

日本だけでなく、欧米やアジア諸国でも学校現場での試用がはじまっています。

本講座では、学会、業界団体、標準化団体などではじまっている電子教科書・教材に関する

議論、海外での試用状況などをご紹介します。また試作された電子教科書・教材を実際に

操作していただき、特にこれからの高等教育のあり方、学生にとって使いやすい

電子教科書・教材とはなにかを意見交換していただきます。これらを通じ、電子教科書・教材に関する知見を深めていただければ幸いです。

支払方法と	■支払方法:
領収書発行	当日会場受付時に現金支払
	■領収書発行:

領収書をご要望の方は、お申し込みの備考欄に「領収書要」と、ご記入ください。
会社名(学校名)欄にご記入いただいた宛名で用意いたします。なおそれ以外の
宛名をご希望の方は、お申し込み備考欄に、宛名を明記ください。

**キャンセル
について**

申込後のキャンセルは、早めにご連絡ください。開催の 5 日前より以下のキャンセ
ル料金が発生いたします。なお、キャンセル料に関しては、後日請求となります。

- ・開催5日前～3日前のキャンセル料は、参加料の 50%
- ・開催2日前～当日のキャンセル料は、参加料の 100%
- ・連絡なしの不参加は、参加料の 100%